

わたしたちの意見を市政に

牛久市小学生模擬議会

牛久市の将来を担う小学生に、地方自治の仕組みを学び、市の政策決定の過程や市議会の運営方法などを体験し理解しながら、牛久市のまちづくりへの参画意識を持つってもらうため、8月20日、市議会議場で「平成21年度牛久市小学生模擬議会」を開催しました。市内各小学校の5・6年生14人が参加し、小学生から市政に対し新鮮味あふれるさまざまな質問が出され、市執行部も定例議会同様に熱心に答弁しました。



○道路整備について…村島朋恵さん
市長 皆さんが安心して通学で

きるように、通学路の危険個所を優先して整備しています。大きい道路も随時整備をするとともに、皆さんが日ごろ家と学校を往復している通学路を一番先に整備しようという基本的な考え方で道路整備をしています。



○牛久市の環境を守るための取り組みについて…山口聖矢さん

市長 市では「みどりと自然のまちづくり条例」に基づき、市内の貴重な樹木や森、緑を保全する必要がある地域について、それぞれ市民



○福祉について…栗山直大さん
市長 地域住民の交流が目的の「ふ

れあいサロン」を各地で開いて、レクリエーションや「かつばつ体操」を通して、お年寄りや地域住民の活発な交流ができるようにサポートなどを行っています。さらに、介護を受ける前の高齢者の方たちを対象に、お住まいの地区ごとに「元氣教室」を開催しています。



○地域の開発と活性化について…和田唯暉さん
市長 まちづく

りに関する基本的な方針を示した「都市計画マスタープラン」に基づき開発を実施しています。また、「牛久ワインビレッジ構想」を策定し、牛久駅周辺やシャトーカミヤ周辺の地区ににぎわいをもたらすような、さまざまな方法を検討しています。



○牛久市のこれらの農業の発展について…國田悠介さん

市長 市では、限りある資源を有効に活用することを目的に、「牛久市バイオマスタウン構想」をいち早



○かつば号の利用について…玉井星音さん
市長 コミュニ

ティバスかつば号は、路線バスなどの交通手段がなく不便な思いをしていた所や、大型バスでは通れないような所を運行することで、車の運転が困難になった高齢者の方や、自分で車を運転しない方な

小学生模擬議会議員

村島朋恵	中根小学校
山口聖矢	神谷小学校
栗山直大	奥野小学校
和田唯暉	牛久第二小学校
國田悠介	向台小学校
玉井星音	牛久第二小学校
唯根ひかり	奥野小学校
澤畑理紗	神谷小学校
塚崎純也	牛久小学校
坂本絢音	岡田小学校
野崎結衣	牛久小学校
美斉津啓人	中根小学校
橋本溪介	岡田小学校
横田朋佳	向台小学校

(敬称略)



どが出掛ける際の足として利用していただくことを目的としています。また、かつば号の利用が困難な方には、高齢者移送サービス事業により、ドア・ツー・ドアの移動も実施しています。



○伝統文化財を守るための取り組みについて…唯根ひかりさん

教育長 「文化財ガイドブック・ガイドマップ」を作成したり、市内に残っている城跡の整備を進めていて、牛久城跡や岡見城跡では、間伐や下草の伐採などを行い、遺跡の保護に努めています。特に小坂城跡は、地域の皆さんの憩いの場となるよう、市民と話し合いをしながら、城址公園の整備計画を作成しています。



○自動車と歩行者の事故対策について…澤畑理紗さん

市長 小学校などで交通安全教員が交通安全教室や防犯教室などを行っています。また白黒のパトロールカーによる交通安全パトロールなども実施し

ています。通学路の安全対策としては、学校前の道路幅を広げて歩道を設置するなど、道路の整備を順次行っています。何よりも皆さんが「自分の命は自分で守る」という意識を強く持つことも大切です。



○環境とまちづくりに関して…塚崎純也さん

市長 「牛久ワインビレッジ構想」を策定し、中心部を活性化するためのさまざまな方法を検討しています。その中で、牛久駅前を牛久の表玄関として、牛久の顔となるような風景をつくったり、国の重要文化財に指定されたシャトーカミヤを中心とし、緑の中を楽しく散歩できるように歩道を整備するなどして、まちのにぎわいをつくり出そうという計画があります。



○小児医療について…坂本絢音さん

市長 市内の小児医療機関が2カ所から4カ所が増え、医師数は、毎日いる小児科医は5人、パートの小児科医は20人です。また、子ど

もが入院できる病院は、今年の4月から、毎日いる小児科医が配置されたつくばセントラル病院で入院が可能となりました。また、救急対策として、休日・夜間の急な病気に対応する「小児救急輪番制」も実施しています。



○市内の公園について…野崎結衣さん

市長 公園は地域の皆さんが集う場所です。ご不便を感じている点については、市役所で改善し、市役所だけでは改善が難しいことについては、地域の皆さんと協力をして、利用しやすい公園にしていきたいと考えています。



○まちづくりに関して…美斉津啓人さん

市長 ひたち野地区のまちづくりとして、来年の4月には新しいひたち野うしく小学校が開校します。また、駅東口にある「リフレビル」を市の施設として購入し、市役所の出張所や集会施設、保育施設などを設置し、市民の皆さんのコミュニティセ

ンターとしての機能を充実させる計画を進めています。



○災害発生時の避難場所について…橋本溪介さん

市長 市内小中学校の耐震化率は74・6%で、これは、県内の市町村では5番目に高くなっています。小中学校の校舎や体育館などについては、今後計画的に耐震化工事を進め、同時に避難所としての安全性も確保していきたいと考えています。また、約1万食分の食料や毛布、簡易トイレなども防災倉庫や学校の空き教室などに備蓄しています。



○市の経済・産業の発展について…横田朋佳さん

市長 市では、中小企業の皆さんに資金の貸し出し支援金、保証金や利息の補てんとして約7600万円の支援をしています。また、市民が市内のお店で買い物をしたり、家族で食事をしていたりしていただくために、ハートフルクーポン券発行事業を実施しています。